

月 刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

平成29年3月1日発行 通巻254号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・会員増強委員会 2
 平成 28年度 二級・木造建築士免許
 証明書交付式 開催報告
- ・青年委員会
 あーき塾 坂東幸輔氏講演会
 『空き家が街をおもしろくする
 ～地域が育てた建築家～』事業報告
- ・情報広報委員会からのお知らせ

- ・青年委員会 3
 対外交渉事業『おかしないえづくりin
 草津』 事業報告
- ・ヘリテージマネージャー支援委員会
 第9、10回滋賀県ヘリテージ
 マネージャー育成講座報告

- ・女性委員会 4
 女性委員会主催 全員会議 報告
- ・大津地区・湖西滋賀地区
 建築フォーラムのご案内

- ・第8回 建築の春 中村 民雄さん
 高島地区(ゆー空間建築事務所) .. 5

- ・滋賀職能大 6
 (ポリテクカレッジ)からのお知らせ
- ・3月の暦
- ・滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
 第9回 竹内酒造 (湖南市石部)



竹内酒造 木造蔵

竹内酒造は、現在湖南市となった東海道宿場町 石部の旧街道沿いの市街地にある、県内では中規模の酒蔵である。創業は明治5年(1872年)。約2年前、前杜氏が高齢のため引退したのを機に、35歳と若き未来のある中村尚人杜氏を迎え入れ、蔵人も6人のうち3人の顔ぶれが一新し、平均年齢が一気に30代へと若返ったことにより、伝統を引き継ぎながらもフレッシュでパワーがあり活気溢れる酒造りを行っている。昨年早速全国新酒鑑評会において金賞に輝いた上、麹室も新たらしくされた今期は、益々の酒質向上が期待されている。

写真は昭和50年ごろに建てられた木造の仕込蔵である。昔の道幅のままの路地に面した姿は風景にとっても馴染んでいる。内部は旧蔵の古材を再利用したと考えられ、伝統が建物にも息づいているようである。2階建てで1階に仕込みタンク、搾り機、蒸し場、洗米場がひしめくように並ぶ。2階は麹室、酒母場が並び、仕込みタンクに2階から投入したり、權入れができるようになっており、とても広々として清潔で美しい。広々とした木造蔵で仕込みを行う数少ない蔵である。

竹内酒造の醸す酒のコンセプトは「フレッシュでフルーティな酒」。香りもあつてすっと喉越しがよく、それでいて食事の邪魔をしない酒を目指されている。極上の旨さが香り、高品質な香りを目指した代表銘柄「香の泉」、ただひたむきに、ただひたすら旨い酒をと拘りを詰め全国に売り出す限定流通銘柄「唯々」。進化を続けている酒蔵から目が離せない。

(前谷吉伸)

平成29年2月4日(土)ピアザ淡海3階305号会議室において、(公社)滋賀県建築士会の主催で執り行いました。今年も、二級建築士86名(総受験者数238名)木造建築士9名(総受験者数17名)の方が、免許を取得されました。

県内を中心に45名の参加を得て、新建築士の旅立ちに滋賀県土木交通部建築課長の林口富雄氏の臨席を賜りました。建築士会の案内もさせていただき、多くの新しい建築士会員が生まれ、一緒に活動できる事を期待したいと思います。



代表者に免許証の交付



新建築士45名が参加

あーき塾 坂東幸輔氏講演会 『空き家が街をおもしろくする～地域が育てた建築家～』 事業報告

青年委員会は2月4日(土)、ビバシティ彦根にて、『あーき塾 講演会 空き家が街をおもしろくする～地域が育てた建築家～』を開催いたしました。講師には、第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展において審査員特別表彰を受賞され、現在は京都市立芸術大学講師、そして坂東幸輔建築設計事務所を主宰されている坂東幸輔氏をお迎えし、空き家の活用事例についてご講演頂きました。

第一部は、坂東氏が徳島県神山町で実際に手掛けられた空き家の活用方法、建築家としての取り組みや考え、周辺住民との関わり合い、まちづくりに成功した理由など、多岐にわたり映像とともにレクチャーいただきました。

第二部は、会場のみならずからの数多くの質問に対し、わかりやすく丁寧に答えいただきました。質疑応答の量と内容がまさに、空き家に対する関心の高さや、空き家に関わるみなさまの苦悩や問題点であることがわかりました。

第三部は、当日の午前中に彦根を散策し、空き家の現状を見ていただいた中で、坂東氏自身が感じ取られたことや、今後の活用へのヒントとなる提案をお話いただきました。全国各地で空き家の活用を実現されている坂東氏からのご意見は、滋賀県内における新たな空き家活用の参考になりました。

当日は、行政・一般・学生の方々など、100名を超えるご参加をいただき、充実した内容の講演会となりました。ご協力いただいた彦根地域会のみならず、協賛いただいた各企業さま、ご参加頂きましたみなさまにこの場を借りてお礼申し上げます。



会場からの質疑に応答される坂東氏



熱心に拝聴する参加者

情報広報委員会からのお知らせ

◆機関誌「家」2017年号 『会員の声』を募集しております。

2017年3月20日までに 公益社団法人滋賀県建築士会事務局までご連絡ください。

◆月刊「家」バックナンバー及び今月号は(公社)滋賀県建築士会HP shiga-sa@mx.bw.dream.jpから閲覧でき、ダウンロードも可能ですのでご活用ください。

2月12日(日)、草津市立まちづくりセンターにて、対外交流事業『おかしのいえづくりin草津』を開催いたしました。この「おかしのいえづくり」は、昨年度開催された近建青主催事業「第1回近畿青年建築士サミット」の中で奈良県・和歌山県建築士会が発表したもので、次世代育成事業として、滋賀でもぜひ取り入れたいという情熱により開催することとなりました。初めての事業なので、和歌山県建築士会 青年委員会の同事業を見学したり、担当部会メンバーで実際におかしのいえを作ってみたりと、万全の準備を行いました。

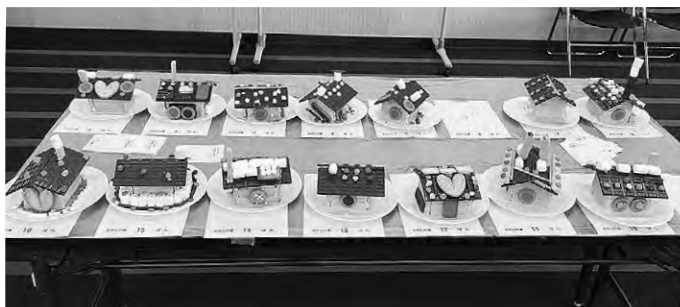
申込開始時から反響が大きく、定員超えとなり、多くの方にお断りをさせて頂くという状況でした。北は長浜、南は大津まで幅広い地域、そして、3歳から11歳までの幅広い年齢層の子ども達40名、保護者32名のご参加を頂きました。ご協力頂きました湖南地域会の皆様には御礼申し上げます。

始まる前から子ども達は材料のお菓子を眺め、どんな家を作ろうかと、想像をふくらませワクワクしておりました。青年委員会メンバーが、各テーブルをまわりながら作り方の要点を説明し、各々自由に作って頂きました。難しいところは親が手伝ったりしながらも、ワイワイと楽しく作ることが出来ました。子ども達の発想は素晴らしいもので、飾り付けのお菓子の使い方には関心させられました。

参加者からは喜びの声を聞く事が出来、建築士・建築士会の良いPRにつながったと思います。過去に開催していたベニヤドーム・ケルン（積み木）・木のパズルと同様、こういった事業において、子ども達に建築に興味を持ってもらい、少しでも未来の建築士の育成に繋がっていけばと思います。



おかしのいえ制作中



おかしのいえがずらり

1月28日(土)開催の第9回講座は、歴史的建造物の保存活用とヘリテージマネージャーの社会的役割について総括的な講義が行われました。当日の講師は実行委員として本講座の運営に関わっていただいております日向進先生と石川慎治先生が担当され、これまでに両氏が関わってこられた保存活用事例に基づき、今後のHM活動の示唆となる講義が行われました。

前日の大雪の影響が残る2月11日(土)、最終となる第10回は公開講座とし、建設会館4階大ホールで行われました。受講者が5つのグループに分かれ「私が見つけた歴史的建造物の保存活用計画」と題して、各グループで見つけ出した歴史的建造物について現地調査を実施し、歴史的評価と保存活用計画について発表しました。この発表会を終え、本年度のHM講座はすべて修了し、その後の修了式において修了者に修了証とHM認定証が授与されました。26,27年度補講生を含め、今年度あらたに34名のHMが生まれ、3か年の講座で計72名がHMとなりました。今後のご活躍を期待いたします。



第9回日向進講師



第9回石川慎治講師



第10回発表会



修了式・修了者に認定証授与

1月21日(土) 彦根市勤労福祉会館研修室にて(公社)滋賀県建築士会女性委員会主催の全員会議を開催し、参加者14名のご出席をいただきました。

綱領唱和に始まり女性委員会大村委員長挨拶の後、福谷副会長挨拶・開催地彦根地域会菊川代表挨拶を賜りました。続いて、平成28年度事業報告、平成29年度事業方針・事業計画、平成29年度役員選出と、議事は滞りなく終了しました。

会議終了後、全員会議の主旨でもある「より多くの会員のご意見を頂戴し、今後の事業活性化に努める」ため、出席者全員に自己紹介と近況報告、女性委員会活動に対する考えを語って頂きました。

平成29年度も女性委員会は、会員相互の親睦を深め、外部発信への原動力、会員増強へ結びつく委員会を目指していきたいと思います。



全員会議

法改正の最新情報をお伝えします。



日 時 平成29年3月22日(水) 13:00 受付開始 13:30~16:30

場 所 大津市民文化会館 多目的ホール (大津市御陵町2番3号 TEL: 522-7165)

※会場は、駐車場が少ないので、公共交通機関(電車、バス)をご利用ください。

定 員 100名 (FAXによる申し込み先着順とし、定員になり次第締切ります。3/18最終締切)

参 加 費 無 料

内 容 1 開会あいさつ (13:30~)

2 フォーラムの内容 (13:40~16:00)

(1)建築物省エネ法の施行について

(2)生活道路拡幅整備推進事業について

(休 憩 10分)

(3)構造規定の改正について

(4)滋賀県内建築基準法取扱基準の改正について

3 質疑応答 (16:00~16:20)

4 閉会あいさつ (16:20~16:30)

講 師

大津市都市計画部建築指導課

大津市都市計画部建築指導課

大津市都市計画部建築指導課

大津市都市計画部建築指導課

※内容については、最新の法改正等を取り上げるため、内容と共に講師が変更となる場合があります。

建築フォーラム 参加申込書 大津地域会事務局(FAX 077-544-6500)			
参加者 住所			
参加者 氏名	連絡先(携帯)		
所属に○印を記入ください。 (重なる場合は両方に○)	所属地区(建築士会)	大津 湖西滋賀	その他地区名 ()
	所属支部(事務所協会)	大津	その他支部名 ()
	会員外		

※取得した個人情報は、フォーラム以外には、使用いたしません。

若き建築士たちの熱き思いを、取材を通してご紹介していく新シリーズ「建築の春」です。

第八回

中村 民雄 さん

高島地区（ゆ一空間建築事務所）

敷地を読み解いたプランや デザインで、楽しい家づくりを

設計事務所に勤務し、高島市を中心に官公庁から民間の仕事まで、意匠設計を請け負っている。実家は高島の農家だった。父が冬場は大工として働いていて、実家の増築工事を自ら行っていたのを見て手伝っていたという。「自分も大工になろうと思っていたが、中学の技術の授業があまりにも下手だったので断念（笑）。性格的にも、ペンを動かすことが好きだったので、設計の道へと進もうと思った。」

設計するにあたっては、敷地の確認を行うことはもちろん、周辺にどのような建物が建っているのか、どの場所から敷地がよく見えるのかを時間をかけて歩くようにしている。最近ではインターネットで便利にはなっているが現場でしか味わえないものがそこにはある。住まいと勤務先の高島市は積雪が多い。1mは積もる。外観を考える中で、雪を検討することは必要不可欠だ。一年のうち、数ヶ月の問題だがやはり無視はできない。

設計をはじめて20年になり、どんな仕事でも楽しさを感じれるようになった。「福祉施設の設計では、明るい色を好まれる傾向にあるが、一部の梁を現しにして濃い色で塗装しアクセントになるように提案した。最初は暗い雰囲気にならないか心配されていたが、実際に出来上がってみると喜んでくれた。」

「住宅の設計では、実際家族が住まわれるので、コミュニケーションも大切だ。時間に追われることもしばしばあり、何でも一人で考え込んでしまいがちだ。施主はもちろん、大工さんや職人さんとの会話、社内スタッフとの意見交換をすることで、気持ちも建物も明るくなるに違いない。」完成までは施主と和気藹々としているが、引き渡し後は一線を引いた付き合い方をしたほうがいいのか悩んでいるという。「引き渡してからの付き合いが少ないので、今後は迷惑でも訪問して住まわれてからの話を聞いたり、どのように住まわれているのかも見ていきたい。」

昨年結婚し、今春頃からは自宅を建築する予定だ。「周りからどんな家ができるんやろうと勝手にハードルが上がっているが、そんなプレッシャーを楽しみながら考えていきたい。ただ、楽しいプランやデザインもお施主様に提案してしまうのが問題だ（笑）」

（取材 ki. haru）



1976年 滋賀県高島市生まれ
専門学校を卒業後
ゆ一空間建築事務所入社



横に建つ母屋と外観を合わせた住宅



濃い色に着色した梁がアクセントとなった福祉施設の内観



設計監理に携わった福祉施設

滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ

平成29年度 能力開発セミナーの予定

平成29年度の能力開発セミナーのプログラムは本誌3月号に掲載予定です。

コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH011	ネットワーク工程管理技術	¥7,000	10	7/12(水)、19(水)	10:00~17:00
CH031	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密工法	¥7,000	10	7/25(火)、26(水)	10:00~17:00
CH021	実践建築一般図・詳細図作成技術(2次元CAD: AutoCAD編) New	¥7,000	10	8/2(水)、9(水)	10:00~17:00
CH041	木造住宅の省エネ設計技術	¥6,500	10	11/15(水)、22(水)	10:00~17:00

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

講座の内容については

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_h29.html

(電子パンフレット、建築・住宅関係コース、各講座の詳細へのリンクもあります)

ネットでの受講申し込みは

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H29/entry2017.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。

下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)

www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254

FAX: 0748-31-2255

新入会員の ご紹介

地 区	氏 名
大津地区	内 藤 正
大津地区	中 村 優 仁
大津地区	星 田 哲 平

地 区	氏 名
高島地区	山 原 統 太
高島地区	山 崎 信 一
湖北地区	小 森 正 章

地 区	氏 名
甲賀地区	竹 田 和 渡
甲賀地区	山 下 知 毅
甲賀地区	白 井 歩

3月の暦

1	水	大安		10	金	友引	青年委員会研修旅行	21	火	先勝	
2	木	赤口	H28年度第3回「定期講習」	11	土	先負	in 福島・宮城	22	水	友引	
			H28年度第3回	12	日	仏滅		23	木	先負	
			「監理技術者講習」	13	月	大安		24	金	仏滅	
3	金	先勝		14	火	赤口		25	土	大安	
4	土	友引		15	水	先勝		26	日	赤口	
5	日	先負		16	木	友引	理事会	27	月	先勝	
6	月	仏滅		17	金	先負	近建協定例会議	28	火	先負	
7	火	大安	青年委員会	18	土	仏滅	近建青「京都会議」	29	水	仏滅	
8	水	赤口		19	日	大安		30	木	大安	
9	木	先勝	四役会	20	月	赤口	春分の日	31	金	赤口	

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて

第9回

竹内酒造（湖南市石部）

写真は、旧東海道に面する竹内酒造である。現在はRC造の小売り店舗兼前社長宅と裏口がある。昔はこちらが表であったが、現在玄関や事務所は、敷地の北の道路側に移されている。江戸時代の東海道五十三次の宿場町のひとつ石部宿は、通りを歩くとその歴史の風情を感じることができる。酒造業に力を注ぎ販路を全国へ向けるほどに広大な敷地が必要となり、造った酒を地元向けに販売していた頃と異なり旧街道沿いに位置する立地特性は薄れていく。しかし酒蔵を訪れた時には、歴史と伝統に培われた街並みも人々の心を打つのかもしれない。

代表銘柄：「香の泉」「唯々」

(前谷吉伸)

